

私たちの環境重点テーマ -Our Environmental Priority Themes-

「富士通フロンテックグループ環境方針」に基づき、社会と協同し、豊かで美しい地球環境と持続可能な社会の発展を目指します。

富士通フロンテックグループは、気候変動問題や生物多様性保全など企業をとりまくグローバルな環境課題の動向や、富士通グループの環境方針および中長期環境ビジョンに基づき、「富士通フロンテックグループ環境方針」を定め、本方針に基づいた「富士通フロンテックグループ環境行動計画」を策定し、実践しています。

2016年度から2018年度の環境目的・目標を「富士通フロンテックグループ第8期環境行動計画」として策定し、環境活動を推進しています。

富士通フロンテックグループ環境方針

理 念

富士通フロンテックグループは、富士通グループ環境方針を順守し、『環境にやさしい企業活動』を基本理念として地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つであると認識して推進します。

ICT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を順守するとともに、自主的な地球環境保全活動に努めます。

さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるようすべての組織と一人ひとりの行動により、先行した取り組みを継続して追求していきます。

行 動 指 針

- ① 製品・サービスのライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- ② ICTプロダクトとソリューションを通じ、お客さまや社会の環境負荷低減および環境効率の向上に貢献する。
- ③ 省エネルギー、省資源および3R（リデュース・リユース・リサイクル）を強化したトップランナー製品を創出する。
- ④ 活動、製品およびサービスが環境に与える影響を常に認識し環境関連法規制、その他の要求事項、自主基準等を順守しCSRを果たす。
- ⑤ 活動、製品およびサービスにかかわる環境影響評価結果に基づき、汚染の予防および継続的な改善を図る。
- ⑥ 「社会への貢献」と「自らの事業活動」において、環境目的・目標の設定、見直しを行い、全員参加で一人ひとりが気候変動対策や生物多様性保全をはじめとした地球環境保全に努める。

目 次	頁
私たちの環境重点テーマ	01
ごあいさつ	02
会社概要／事業体制／営業	03
ハードウェア製品の開発／グリーン調達	04
製造	05
ソリューション開発・サービス	06
目標および実績	07
社会貢献活動（国内）	08
社会貢献活動（海外）／事業活動および環境負荷	09
環境パフォーマンス／環境会計	10

編集にあたって

本報告書では、「富士通フロンテックグループ第8期環境行動計画」（2016年度から2018年度）における2017年度の実績、および主な活動を中心に紹介しています。

また、昨今、世界中で重要視されている「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した内容となるよう、配慮しました。

報告範囲

本報告書に記載した環境関連データは、富士通フロンテック(株)本社・東京工場、新潟工場、熊谷サービスソリューションセンター大宮ソリューションセンターおよび(株)富士通フロンテックシステムズなどを対象範囲としています。なお、富士通フロンテック(株)本社・東京工場のデータの中に(株)ライフクリエイトのデータも含まれています。

対象期間

2017年度の活動を中心に報告しており、記載しているデータはその実績値です。ただし、それ以外の期間の内容も一部含みます。

コミュニケーション（編集後記）

「パリ協定」が発効されるなど世界中で環境保護にかかわる活動が活発化している中、富士通フロンテックグループは、『環境にやさしい企業活動』の基本理念のもと、地球温暖化の防止や生物多様性保全などを通して環境活動を積極的に展開しており、それらの報告も含めて「環境報告書2018」を発行させていただきました。

今後毎年1回の発行を予定していますが、ステークホルダーの皆さまからのご意見・ご提案を参考にしながら、さらに意義のある充実した内容となるよう努めてまいります。

発行 2018年10月
 発行責任者 代表取締役社長 五十嵐 一浩
 企画・編集責任者 環境管理センター長 安藤 丈己